

Cチーム

ユーザー



CONCENT



辻さん

アクセシビリティエンジニア
東京都

生まれた時から目が見えません。
奥様・お子さんと3人で暮らしています。

メンバー

TOTO



吉田 光輝

プロダクトデザイナー
福岡県

FUJITSU



小田 彩花

UI/UXデザイナー
東京都

NISSAN



名前

カーデザイナー
神奈川県

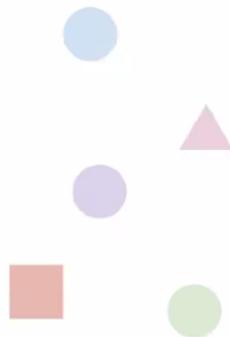
業種や普段の業務内容も異なるメンバーで推進。

12/12

12/16

12/21

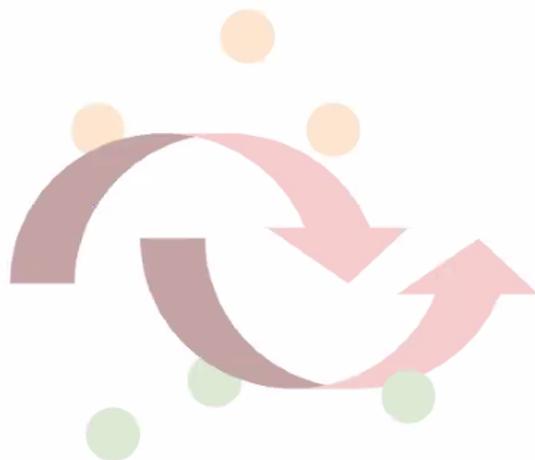
12/23



インタビュー・ブレスト



発散・収束



ギャップの解消



最終案

ユーザーとのコミュニケーションから、より本質的な問いを探ることができた。

位置情報の記録

音・におい・道 関連付けられそう

杖が最も大切な アイテム

イレギュラーが起きた時どうするんだろう？

振動で障害物を伝える

目的地までアテンド

生活を補助する キーワード

付加価値となる キーワード

イレギュラーを想定した キーワード

参考URL
ortena
insta360

以下の機能を備えた“白杖”という方向性に絞り込みを行った。

- ① 情報を得る, それを辻さんに伝える機能。
- ② 辻さんのクリエイティビティを刺激する, わくわくさせる機能。
- ③ イレギュラーが起きた時に辻さんをサポートする機能。

12/21 (月)
ギャップの解消



相棒のような存在

“記録する”楽しみも兼ねる

誰にでもわかりやすいインターフェース

振動で障害物を伝える

困ったときに杖を上げる動作

思い出をデータベース化

情報を伝える

楽しみを与える

困ったとき助ける



辻さん

白杖は確かに大切なもの。大切であるが故に、よりシンプルなものがいいな。

健常者と同じように歩けるようになることがゴールではないよ。

思い出としての映像は、映っているものに責任が取れないので他人と共有しづらい。

もしものときの証拠映像のためにカメラというものは必要だと思うよ。

困っているときに杖を高く上げることはしない。“上げてない=困ってない”と思われたくないな。

事故に遭ったりして白杖が折れてしまうと何もできなくなる。外に出るのは本当に命がけなんだよ。

困る前に教えてほしい

困ったときに役立つほしい

“無事に帰ってこられること”が最も重要な辻さんの願い。

最終案





③



- ①常に進行方向を映せる胸の位置にあるカメラ
- ②カメラが障害物や危険を察知するとベルトが締まる
- ③子供の安全を守ることに使える

現在の辻さんは…
外に出ることが命がけ

白杖より上の危険には
気づくことができない

もし白杖が折れたら
その場から動けなくなってしまう…



車側が事故そのものに気づかなかつたり、
無視される場面もある

ストラップがあることで…
白杖で得られない範囲の **①危険を知らせてくれる**
もし事故が起きても **②記録として残すことができる**



事故映像を記録⇒その後の対処に活用

“まず無事であること” “何かあったときの備えがあること”
をサポートすることで心理的ストレスを低減.



心に余裕が生まれ, 安心することではじめてわくわくできる.

- ① 「どうわくわくさせるか」まで考えられないか？
 - ▶ユーザーに委ねるのではなく、
プロダクトから提供できるとより強い提案になる。

- ② 充電方法や、どんな力で締まるべきか検討が必要
 - ▶ユーザーを咄嗟に引き留めるにはどんな動きが最適か検討する必要があった。

- ③ 外に向けて知らせる機能
 - ▶本人だけでなく、周囲の人に知らせる機能があってもいいのでは。

より強い提案に向けていくつか課題が見られた。

Cチーム発表資料は以上になります
ありがとうございました